

令和6年度予算の主な新規事業

事業名	予算額
LINE等を活用したオンライン市役所の推進	1,626万1千円
(仮称) 未来志向の公共施設マネジメント検討委員会の設置	11万3千円
幸町都営住宅内公園防球ネット設置	2,862万円
ウォーキングマップ等アプリの構築	647万5千円
西部地域センターエアハンドリングユニット更新工事	3,185万3千円
図書館システム再構築	5,705万2千円
地域防災計画等改訂	436万7千円
私道整備工事	1,381万6千円
あたたかい献立の提供に向けた給食消耗品の購入およびあたたかい献立プレテスト	453万5千円
デジタル版社会科副読本作成	299万1千円
義務教育就学児医療費助成事業に係る所得制限撤廃	3,877万8千円
東京都知事選挙執行事業	5,770万9千円

質問 中学校給食で、個別容器を用いた「あたたかい献立」の導入に向け、6年度は生徒を対象にプレテストを実施するということだが、保護者向けの試食会においても個別容器を用いることが可能か伺う。

答弁 個別容器をつける場合、試食会実施日の調理場の人員体制等について調整する必要があるため、受託事業者と実現可能か話し合いを行う。

質問 ウォーキングマップ等アプリの構築について、アプリ内に入る予定のマップはどのくらいあるか。また、新たにマップを作成する予定はあるか。

答弁 各課で作成し、配布している17種類のマップをアプリ化していく。市内を一周できるようなロングコースのウォーキングマップや熱中症対策としてクーリングシェルター（冷房のある施設）情報が分かるマップを新規作成する予定である。

質問 社会科副読本作成事業について副読本はどのようなもので、何年ごとの改訂となるのか伺う。

答弁 自分たちの市を中心とした地域の学習で使用し、「わたしたちの東久留米市」という副読本を使用している。おおむね10年に一度の学習指導要領の改訂に合わせ行っている。

予算特別委員会での質疑応答

質問 義務教育就学児医療費助成事業や高校生等医療費助成事業の多摩26市の実施状況を見ると一部負担金がある自治体とない自治体で自治体間格差がある。財源に関して東京都へ要望をあげて欲しいが見解は。

答弁 オール東京で行っていくということであるから、東京都が広域自治体として、財源は確保して欲しい。高校生等医療費助成事業については、東京都と市町村の間で市長会からも役員の市長が出席し、協議が続いている。今後の財源についても引き続き建設的な協議がなされるものと考ええる。

質問 図書館システム再構築委託の目的と必要性について伺う。

答弁 蔵書データの管理や利用者データの管理などを行うシステムについて、OSやソフトウェアのサポート終了によるセキュリティの脆弱化や機器の修理に必要な部品の調達期間が終了することから、システムの構築・導入などが必要となる。

予算案に対する各会派の意見表明・賛否討論(要旨)続き

3面から続く

日本共産党

数で否決されたが、引き続き市民の声を伺いながら、市民の願い実現のために力を尽くしていく。

市民自治フォーラム

市民の声に耳を傾け市政に反映を

令和6年度一般会計予算案について、原案に反対し、予算特別委員会で提出された組み替え動議に賛成する。物価高騰等の影響で市民の暮らしは昨年に増して厳しい状況であり、市も対策を講じるべきと考える。

久留米ハートネット

将来への責任を果たす富田市政に賛成！

令和6年度一般会計予算案は総額約478億円と過去最高額。前年度から20億円以上も増え、本来ならばとても認めることはできない。しかし、厳しい財政状況の

ニューウェーブ

限られた予算で様々な取り組みを評価

予算案では、高齢化に伴う社会保険料の増や物価高騰などによる苦しい状況は変わらない中、多くの新しい事業が示された。国や都

以上により一般会計予算案に反対する。

国民健康保険特別会計予算案は、国民健康保険税条例の一部を改正する条例が市民負担増となることから反対する。

後期高齢者医療特別会計

市政の課題について、①ゼロ歳児の一時預かり事業の人材確保のための予算計上、②学童保育所への民間活力導入における会計年度任用職員の継続雇用への配慮、③乳酸菌飲料配布事業の廃止による配食事業のさらなる市民への周知、④図書館の収支報告書の実態把握と、必要に応じた是正、以上を求める。

「みんなが主役のまちづくり」を進めていくためにも、一人でも多くの市民の声に耳を傾け、市政に反映することを求める。

国民健康保険特別会計予算案は、現状の国民健康保険税の値上げは厳しいと判断し、反対する。

後期高齢者医療特別会計予算案、介護保険特別会計予算案、下水道事業会計予算案は、特に意見を付すことなく賛成する。

中、歳出増加に対応してもらうべくまとめた予算だとも言え、その努力は評価したい。私が富田市政で最も高く評価している点は、将来的視点に立った行政運営を行っているということ。富田市政の三大政策、公共施設マネジメント、人にやさしいデジタル化、こどもたちへの投資は将来のまちづく

き続き、必要な財政支援を求め、「あんしんして暮らせるまちづくり」では、「未来志向の公共施設マネジメントの推進」「人にやさしいデジタル化の推進」「こどもたちへの投資」といった3つの重点的取り組みが挙げられた。どれもがまちのこれからの大きな変化に伴

かりと整備していくことで東久留米が明るい未来に近づいていくことになる。

限られた予算の中で最大限効果が出る予算であると評価する。

以上のことから、一般会計予算案に賛成し、その他3特別会計予算案、下水道事業会計予算案には、特段